

美ら島：沖縄

[ちゅらしまおきなわ]

ご自由にお持ち帰りください。

TAKE FREE
無料
2013
8
AUGUST
Vol. 455

美ら島：沖縄

Vol.455
2013 8月号

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL:098-866-2020

制作・印刷／光文堂コミュニケーションズ株式会社
〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577
TEL:098-889-1121

平成25年8月1日発行第37巻8号通巻455号
この冊子は16,200部印刷し、1部当たりの経費は約87.4円です。
(経費の一部は広告収入により充当されています。)

環境に優しい植物油インクを使用しています



2100

Contents

- 特集1 ゆいレール開業10周年！！
～浦添市への延長に向けて動き出す～
- 特集2 平成25年度「観光月間」
～8月1日は観光の日～
- 特集3 「知的財産権」について考えよう！
～知的財産権はあなたの身近に存在している～

- p02. 県政フラッシュ
- p10. 島宝見聞録「チーム美らサンゴ」
- p12. 県の動き 1 「平成25年沖縄全戦没者追悼式」
- p13. 情報ひろば
- p16. 県の動き 2 「ご存知ですか？農作物や園芸施設（ハウス）の保険があるんです!!!」
- p17. まちあるき「与那原町」

沖縄の文様

マンホール蓋
[蓋の意匠]

沖縄県広報誌
「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、イオンの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは
県広報課ホームページでご覧になれます。

美ら島沖縄 検索

<http://www.pref.okinawa.lg.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課
☎098-866-2020

アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

▶パソコンはこちら

美ら島沖縄 検索

▶携帯電話は、右のQRコードから




●表紙について

沖縄の文様
マンホール蓋

道路面上にあるマンホール蓋には、各市町村の伝統行事や自然・風物など、地域の特徴を表したデザインが施されています。全国に先駆けて、その第1号となったのが、1977年にガーラをデザインした那覇市のマンホール蓋です。その後デザインマンホール蓋は全国に広まり、デザインの審査会が開催されたときの優良デザイン20選には、那覇市と浦添市のデザインが選ばれています。

撮影協力：沖縄鉄工業株式会社

7/3

道路違法占用物・違反広告物
一斉除却作業

良 好な景観を保全し、快適で安全な歩道区間の維持や観光立県沖縄のイメージ向上のため、県土木事務所、沖縄電力及びNTTは、県管理道路等の23地区で違法に掲示されている広告物の一斉撤去を行った。

宮古・八重山地区の離島を含む県内各地で90人が作業に取り組み、電柱や街路樹などに設置されたポスター、立看板、のぼりなど、選挙関連の799点を含む1,314点の違反広告物を撤去した。

この日は自主撤去を促す警告シールを貼ってから5日以上過ぎた広告物を処理し、また、今回新たに見つかった違法広告物に188枚の警告シールを貼った。県土木事務所の担当者は「撤去件数は年々、減ってきているが、許可が必要な広告物に関する周知が不十分なので、今後も定期的に実施していきたい」と話した。



違法に掲示されている広告物撤去の様子

6/29・30

地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議開催

環 境と共生した豊かな美ら島づくりをめざしてをテーマに、環境省・沖縄県が主催し、14か国が参加した国際会議が沖縄科学技術大学院大学で開催された。

29日の公開シンポジウムでは、気候変動に関する政府間パネル議長パチャウリ氏の基調講演などが行われた。また、県主催のレセプションが行われ、参加各国との交流を深めた。

30日の専門家会合では、島しょ地域における温暖化対策やサンゴ礁保全などをテーマに4つの分科会が開催され、活発な議論が行われた。

最後に、議長が「この国際会議を契機に、沖縄を拠点として、島しょ国の環境保全の取組が一層進展することへの期待と、国際会議を継続的に開催する必要性がある」と取りまとめた。



29日の公開シンポジウム発表者

6/18

沖縄平和賞委員会への
寄付金贈呈

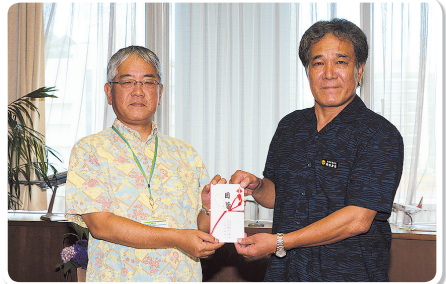
県と包括連携協定を締結している株式会社沖縄ファミリーマートは、沖縄平和賞委員会へ寄付金の贈呈を行った。

沖縄平和賞を県民参加型の顕彰制度として継続するという趣旨で、平成15年度から募金を開始している。

株式会社沖縄ファミリーマートは、今年3月下旬から4月上旬までの間、県内220店舗に募金箱を設置し、総額49万8,654円の寄付金が寄せられた。

高良副知事は「協定締結以来、継続して募金活動を実施していただき、感謝申し上げます。寄付金は沖縄平和賞の副賞・賞金として受賞者へ贈られており、これまでも平和活動の資金として役立てられている。今後とも引き続きご協力をお願いしたい」とあいさつした。

沖縄平和賞授賞式は、2年に1度開催されており、第7回授賞式は、平成26年度に予定している。



寄付金を贈呈する大城社長と高良副知事(右)

6/16

海洋温度差発電実証プラントの
通電式が行われる

県は、久米島町にある沖縄県海洋深層水研究所で、海洋温度差発電実証プラントの通電式を開催し、内閣府の島尻安伊子政務官など多くの関係者が出席した。

海洋温度差発電は、温かい表層海水と冷たい深層海水の温度差を電力に変換する、再生可能エネルギーによる発電のひとつで、世界的にも実施した例は少ない。県は、エネルギー消費のほとんどを化石燃料に依存するため、エネルギーの地産地消を推進しており、その一環として平成24年度から、海洋温度差発電の実証事業を行っている。

通電式に出席した川上副知事は、「久米島町を出発地として、世界に発展するクリーンエネルギーになることを期待したい」とあいさつした。通電式では、通電開始のセレモニーなどを行い、本格的な事業開始を祝った。



通電開始ボタンを押す平良久米島町長、島尻政務官、川上副知事(右から)



2013年
6月・7月

7月

JULY

29日	28日	25日	24日	23日	21日	20日	19日	18日	17日	16日	15日
第22回沖縄県ゆであいスポーツ大会 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6・26ヤング街頭キャンペーン	地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議 の告示・縦覧(7月18日まで)	普天間飛行場代替施設建設事業に係る公有水面埋立承認申請書の告示・縦覧(7月18日まで)	術開発研究の立ち上げ 平成25年度ハイオ産業活性化支援事業にかかる補助事業者採択発表 沖縄市サッカー場で発見されたドラム缶に関する周辺環境調査の実施	平成25年沖縄全戦没者追悼式 ヒメジャコ「お花畑」造成技術開発研究の立ち上げ	ライフスタイルイノベーション創出推進事業研究開発プロジェクト採択交付式	認可外保育施設の防音対策事業に関する要請(沖縄防衛局) 国の史跡・天然記念物の指定	経営革新計画承認書交付式 認可外保育施設の防音対策事業に関する要請(沖縄防衛局)	「沖縄国際航空物流ハブ活用提案セミナー」の開催 6月議会開会(7月11日閉会)	沖縄平和賞委員会への寄付金贈呈式 6月議会開会(7月11日閉会)	海洋温度差発電実証プラント通電式 平成25年度「平和の礎」追刻銘 第1回地域の伝統芸能サークット(エイサー×空手)	沖縄県産マンゴー県外販促キャンペーン

6月

JUNE

県政日誌



ゆいレール開業10周年!!

平成15年8月10日（道の日）、沖縄県唯一の軌道交通として、第一歩を踏み出したゆいレールは、今年10周年を迎えます。さらに、県民の夢をのせて浦添市への延長に向けて動き出しました。

※軌道…電車などの線路。レールを通して車両を走らせるための道。

浦添市への延長に向けて動き出す



リトハク号（ラッピング車両）

ゆいレールの概要

名称：沖縄都市モノレール（愛称 ゆいレール）
 区間：那覇空港駅～首里駅（営業キロ12.9km）
 駅数：15駅
 所要時間：片道27分
 車両編成：1編成2両で定員165人（2両合計）
 速度：平均速度28km、最高速度65km
 開業：平成15年8月10日



「123,456,789人乗車達成」記念式典写真

ゆいレール導入から10周年

戦後の沖縄は、移動手段が自動車中心となり、都心部では人口や産業の集中などで、慢性的な交通渋滞が発生していました。復帰後、都市モノレールの必要性が提起され、長い年月を経て、平成15年8月10日、戦後初の軌道系交通機関として、県民の期待を胸にゆいレールは第一歩を踏み出しました。今年の8月で10周年を迎えるゆいレールは、多くの県民や観光客などに、定時で交通渋滞もないなどの利点が受け入れられ、今ではなくてはならない県民の足として定着しています。

さらに、自動車系交通に比べて二酸化炭素や窒素酸化物の排出も減るため、環境により効果をもたらし、自動車の利用のおかげで、平成24年度には、1日の最高乗客数7万4423人、月間の最高乗客数134万5123人、年間最高乗客数1422万9789人と、それぞれ開業以来の最高乗客数を記録しました。このように、乗客数が伸びているゆいレールですが、過去にはリーマンショックに端を発した景気後退や、新型インフルエンザの流行によって観光客が減少するなど、乗客数が落ち込んだこともありましたが、浦添市への延長も控え、安定したモノレール運営のために、これからも県民の皆さんの応援がますます必要となります。

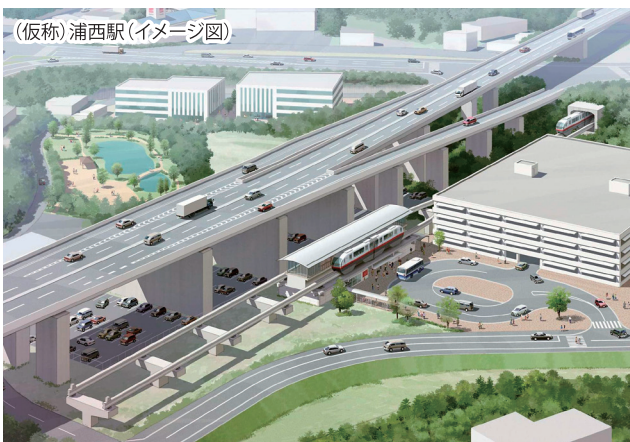
ゆいレールの乗客数

県民の皆さんの利用のおかげで、平成24年度には、1日の最高乗客数7万4423人、月間の最高乗客数134万5123人、年間最高乗客数1422万9789人と、それぞれ開業以来の最高乗客数を記録しました。このように、乗客数が伸びているゆいレールですが、過去にはリーマンショックに端を発した景気後退や、新型インフルエンザの流行によって観光客が減少するなど、乗客数が落ち込んだこともありましたが、浦添市への延長も控え、安定したモノレール運営のために、これからも県民の皆さんの応援がますます必要となります。

開業10周年記念シンポジウム

沖縄都市モノレールの整備によりもたらされたさまざまな波及効果や、浦添市への延長に向けて期待される役割などについて、皆さんに理解を深めてもらうため、シンポジウムを開催します。

- 開催日時
8月16日(金)
午後2時～午後4時30分
 - 場所
沖縄県市町村自治会館 大ホール
(旭橋駅徒歩5分)
 - 参加料 無料
- 先着270名予定



(仮称)浦西駅(イメージ図)

ゆいレールファンクラブに入って応援しよう

「ゆいレールファンクラブ」に加入すると、フリー乗車券がプレゼントされ、またさまざまな店舗で割引やドリンクサービスなどの特典が受けられます。年会費は500円です。詳しくは、各駅窓口か沖縄都市モノレール(株)営業企画課 ☎098-859-2689



都市モノレール建設現場事務所開所(平成25年6月13日)



お問い合わせ 県都市計画・モノレール課 電話:098-866-2408 FAX:098-866-5938
 都市モノレール建設現場事務所 電話:098-943-5520 FAX:098-874-9511

平成25年度 「観光月間」

～8月1日は観光の日～

沖縄県では8月を観光月間と位置付け、観光推進運動を展開しています。この機に県民の皆さんも県内の観光地に出かけてみてはいかがでしょうか？

Copyright 2013 Okinawa Convention & Visitors Bureau, All Rights Reserved



観光月間 関連イベント

県内各地域のイベント

- 一万人のエイサー踊り隊
日時：8月4日（日）
場所：国際通り
- 全島サッカー1万人祭り2013
日時：8月4日（日）
場所：県総合運動公園
- 第36回 宜野湾はごろも祭り
日時：8月10日（土）～11日（日）
場所：海浜公園多目的広場ほか
- 第58回 沖縄全島エイサーまつり
日時：8月30日（金）～9月1日（日）
場所：沖縄市コザ運動公園 陸上競技場（30日は胡屋十字路周辺）

ALL OKINAWA クリーンアップ2013 in 名護

- 8月17日（土）
- きれいな沖縄で観光客をお迎えするために、一緒にビーチや観光地などのクリーンアップ（清掃）をしませんか？友達や家族などを誘ってぜひご参加ください。
- 時間：午前10時～11時30分（予定）
場所：名護市（予定）
-

県民のつどい、 観光PRイベント

- 8月1日（木）
- 観光功労者表彰や観光意見発表、県内各地域の観光PR、アトラクションなどを行います。
- 県民のつどい
時間：午後1時30分～3時30分
場所：宜野湾コンベンションセンター
 - 観光PRイベント
時間：午後5時30分～
場所：パレット久茂地前広場

沖縄への修学旅行

沖縄への修学旅行の特徴

沖縄への修学旅行は、沖縄観光客数の年間を通じて平準化に役立ち、将来のリピーターとなることが期待できる、沖縄の観光にとって非常に重要な分野といわれています。

毎年多くの学校にお越しただいており、平成24年の実績は約2,500校、約43万人となっています。全国の高等学校のうち、3校に1校は修学旅行で沖縄に来ていることとなります。

沖縄への修学旅行の魅力は、先の大戦の経験を生かした平和学習ができること、独特な歴史・文化、自然環境、人々の生活を生かした多様な体験プログラム（焼物や琉球ガラス作り体験、エイサーや三線体験、マンブロープが群生する川でのカヌー体験、マリンスポーツ、イノー観覧など）が



かりゆしウェアを着た修学旅行生

挙げられ、修学旅行地としての総合力が高いため、評価を受けています。

沖縄の修学旅行の魅力は、県民の皆さんも感じてみませんか？

本土の多くの学校が訪れる我が沖縄は、私たちが見過ごしがちな魅力や学びの要素が詰まっています。皆さんも修学旅行の視点から、沖縄の魅力を再発見してみませんか？修学旅行の事前学習などに活用できるWEBサイトを紹介します。

沖縄修学旅行ナビ

<http://excursion.okinawastory.jp/>

沖縄修学旅行の総合ポータルサイト。ガイドブック、DVDなど豊富な情報が掲載されているほか、沖縄の豆知識、クイズコーナーなど楽しみながら沖縄の魅力を学ぶことができます。



沖縄平和学習アーカイブ

<http://peacelearning.jp/>

沖縄県平和祈念資料館と沖縄県公文書館が所蔵する資料のデジタルアーカイブズです。1945年当時の戦争体験談を、2011年の航空写真などと重ねあわせ、時空を超えて閲覧することで、沖縄戦の実相を多角的・総合的に学ぶことができます。



～沖縄観光新ブランド「Be.Okinawa」～



沖縄県では「Be.Okinawa」をキャッチコピーに、海外市場での観光ブランド確立に取り組むこととしています。

観光ブランドとは何でしょうか。「ルイ・ヴィトン」という会社をご存知の方は多いと思いますが、特徴的なモノグラム（LとVを重ねた記号）を見れば、会社名のみならず高級というイメージも思い浮かぶのではないのでしょうか。

また、「I♥NY」というロゴを目にしたことはありませんか。このロゴを見ると、自由の女神や高層ビルが立ち並ぶ摩天楼、多様な人種が集う姿、ブロードウェイなど、各自が魅力に思うユニークの姿が思い浮かぶのではないのでしょうか。

これらはいわゆるブランドが確立した状態であり、観光においてもブランドを確立していくことは、非常に重要となっています。世界の観光地では、象徴的なロゴなどを設定し浸透させることで、ブランド力、すなわち人々の心にその地の魅力を植え付けるとともに、触れた時に反応させる力を高めることに注力しています。

海外市場向けに「ブルーシーブルースカイ」のロゴを使用してきました。しかしながら、競合するリゾート地と区別がつかないなどの課題もあったことから、昨年度、世界15カ国17地域で実施した市場特性調査を踏まえ、観光関連事業者の皆さんとの議論などを経て、新たに「Be.Okinawa」というキーコピーとロゴを決定しました。

このキーコピーに、沖縄の人々や訪問者の温かい笑顔のイメージや、市場毎の特性に対応したサブコピーを組み合わせ、各種メディアを活用しながら発信することで、「沖縄スタイルへの憧れ」などを創出し、海外市場における沖縄観光のブランド化を推進していきます。

沖縄県としては、沖縄21世紀ビジョンで示された「世界水準の観光リゾート地」を形成するためには、観光客数の95%を国内観光客が占めている構造を見直していくことも重要と考えています。外国人観光客の拡大に向けて「Be.Okinawa」を活用し、国内外の航空会社や旅行会社、観光関連事業者なども連携しながら取り組んでいきます。

お問い合わせ 県観光振興課 電話:098-866-2764 FAX:098-866-2765



毎月第3金曜日・土曜日は、「おきなわ食材の日」です。



ていだサンサン 食べたらがんじゅう沖縄産！

「知的財産権」について考えよう!

～知的財産権はあなたの身近に存在している～

技術を保護する
「特許権」

技術を保護する
「実用新案権」

デザインを保護する
「意匠権」

ネーミングや
ロゴを保護する
「商標権」



1 県内における
知的財産権
出願件数の現状

知的財産権とは、技術を保護する「特許権」「実用新案権」、デザインを保護する「意匠権」、ネーミングやロゴを保護する「商標権」など、法令により定められた権利をいいます。これらは特許庁に出願し、登録されてはじめて効力を持ちます。

平成24年度の県内の出願件数は、特許142件（全国45位）、実用新案26件（同36位）、意匠52件（同34位）、商標537件（同27位）となっており、県内の企業などにおいては、知的財産権に対する意識が全国と比べて低いのが現状です。

2 知的財産権が
なぜ必要?

有効活用のおススメ

知的財産権は、企業や個人が活動していくために新たに生み出した商品やサービスについて、第三者に無断使用または模倣されることを回避するために、一定期間創作した人の財産として保護することを目的とした権利です。

また、知的財産権は商品などを保護する役割がある一方、その権利を活用する方法もあります。特許を取得した後、活用されていない特許は多数存在しています。そのため、中小企業などに有効活用されるように、特許情報は広く公開されています。公開されている特許はあくまで特許権者の権利ですので、利用のためには特許権者と活用希望者、双方の契約が必要です。

自社で足りない技術を補うために、他社の特許技術を導入して新しいものを生み出す知的財産権の活用は、企業にとって戦略的な事業を展開させることにつながるのです。

3 まずは
相談してみよう

～沖縄県発明協会～

一般社団法人沖縄県発明協会は、中小企業などへの総合的知的財産支援を行う団体です。特許などの有効活用についてのアドバイスや相談、優れた発明くふう品の展示会などを行っています。

特許の出願方法を知りたい、自社技術を他社に活用させたい、知的財産侵害について相談したいなど、知的財産に関することは当協会までお問い合わせください。

4 発明くふう展の
イベントに参加しよう

～毎年産業まつりにて開催～

沖縄県発明協会では、産業の発展及び県民生活の向上に役立つことを目的に「発明くふう展」として、県内の有望な発明、考案を毎年募集し、広く県民に紹介しています。

平成24年度は、特許・実用新案の部18点、意匠の部3点の応募がありました。

平成25年度も現在募集中で、応募作品は10月末の沖縄の産業まつりに合わせて、審査、表彰を行う予定です。

詳しくは下記の「平成25年発明くふう展募集概要」をご覧ください。



発明くふう展の様子



発明くふう展審査会の様子



事業者向け知的財産セミナー



◎一般社団法人
沖縄県発明協会

知財専門家(弁理士など)による相談会

○発明相談などについてのお問い合わせは
一般社団法人沖縄県発明協会
TEL:098-921-2666
URL: <http://www.okinawa-jiii.jp/>

●平成25年度 発明くふう展募集概要

応募対象	特許・実用新案・意匠
応募資格	沖縄県内に在住又は居所を有する者で、発明者又は出願人
応募方法	所定の申込書に必要事項をご記入の上、下記書類を添えてお申込み下さい。（申込書はHPからもダウンロード可 http://www.okinawa-jiii.jp/ ）
準備するもの	公開又は登録されているものは、その公報を1部
募集期間	7月1日（月）～8月30日（金） （ただし、展示予定数に達し次第締め切ります）
出展料	発明協会 会員 10,000円（2点目20,000円） ／ 非会員 20,000円（2点目20,000円）
審査会・賞の種類	平成25年10月24日（木） ・県知事賞（最優秀賞1点、優秀賞2点） ・発明協会会長賞3点
表彰式	平成25年10月27日（日）

お問い合わせ | 県産業政策課 電話:098-866-2330 FAX:098-866-2440



サンゴの植え付けのための 養殖サンゴの森

チーム美らサンゴでこれまで植え付けを行ったサンゴは全部で24種類。かつてのサンゴ礁のバランスを取り戻すことを目標にしているの、いろいろな種類のサンゴを植え付けています。苗は万座ビーチ湾内で恩納村漁協が養殖しているものをドナーサンゴとして使います。養殖サンゴは流れが当たるところに広がるようになっており、その様子はまるでサンゴの森のようです。サンゴの種類や植え付けの時期によって、成長する速度が異なるために、その都度種類を変えています。成長するにつれ複数のサンゴが融合して成長が早くなるので、ひとつの保護カゴの中にはいくつかのサンゴを寄せ植える手法が取られていますが、それらは同じ親株であることが条件なのだそうです。



ノンダイバーは、海中展望船で植え付けたサンゴの成長した姿を見学。色とりどりの魚の姿に歓声があがります。

沖縄の梅雨明け直後の6月15日、夏空のもと、恩納村のANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾートで、今年2回目のサンゴの植え付けが行われました。今回の参加者は59名。チーム参加企業に所属するタレントの吉澤ひとみさんも参加してにぎやかに行われました。

海に親しむことで その環境への意識が高まる

啓発活動としてフォトコンテストや美らサンゴ祭りを開催するなど、10年の間に活動の内容は広がりをみせています。

ビヤ雑誌などで目にする機会が多いですが、では、サンゴって一体何？と訊ねられたらきちんと答えられない方も多いはず。このサンゴの植え付けイベントでは、サンゴが海や海の生き物にとって、どういう存在であるのか、また、サンゴの増殖のしかたなど丁寧に教えてくれます。

例えば、海水温が30度以上になるとサンゴの細胞内にある褐虫藻(植物プランクトン)が逃げ出してしまい、光合成によってできる栄養をサンゴが受け取れなくなるためにサンゴが死んでしまう、白化現象についての説明がありました。ですからノンダイバーが行うサンゴの苗作りでは、素手でつかむだけでも人の体温でサンゴが火傷をしたような状態になってしまいうので、海水に手を浸して手の温度を下げてから作業を始めます。このようにサンゴに関する知識が深まると、活動に対する思いも強まっていきます。

午後からはダイバーによるサンゴ

島宝見聞録



守り伝えたい
沖縄の宝物を紹介します。

チーム美らサンゴ

美しいサンゴ礁が広がり、多種多様な魚が泳ぐ
美ら海を復活させたいという思いが活動の源です



サンゴの植え付けは、苗を海中の岩盤にボルトでとめ、魚やオニヒトデに食べられないように保護カゴをかぶせます。



サンゴの植え付けポイントに向かうダイバーたち。コンディションは最高。元気よく、行きます！

の植え付けが行われ、ノンダイバーは、水面からその様子を見学します。ウエットスーツに身を包み、ポイントまで移動をするボートに乗り込む参加者からは、ほんの数時間一緒に過ごしただけで、海の環境を守ろうという同じ目的を持ったひとつのチームであるという連帯感が感じられました。

夕方からは恩納村漁協の方々も加わり、バーベキューを楽しみながらの交流会。「年代も、暮らす地域も違う参加者の方たちが一緒にあって、本当に楽しそうに夜中まで飲んでたりおしゃべりしていますよ」と石橋さん。回数を重ねるにつれ、親子での参加や、リピーターも増えているというのは、チーム美らサンゴの活動が、参加者ひとりひとりの楽しい体験になっているからなのでしょう。

ともに守りたい 海の宝物

毎年初夏の大潮の日にサンゴの産卵が確認されますが、チーム美らサンゴが2011年に植え付けたサン

サンゴの植え付けを通した 環境保全と啓発活動

海水温の上昇による白化現象や、オニヒトデの発生、赤土の流入による被害などで、大きな打撃を受けたサンゴを再生しようと、2004年に発足した「チーム美らサンゴ」の取り組みが今年10年目を迎えました。

チーム美らサンゴとは、県内外の企業(2013年現在14社)と恩納村漁協、ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート、さらに自治体が一体になり、ボランティアダイバーによって、サンゴの植え付けを行う活動です。これまで63回の植え付けが行われ、2000人以上の方たちが参加しています。「現在はい部分の方たちが参加するイベントだけではなく、もっと多くの方に沖縄のサンゴの状況を知っていただくために、イベントの実施などを通じた啓発活動にも重点をおくようになりまし」と話すのは、ANA総務・CSR部CSR推進チームスタッフ・アドバイザーの石橋順子さん。ダイビングライセンスを持たない方も参加できるノンダイバープログラムを設定して活動の幅を広げ、新たな



養殖場で苗づくり。

ゴの産卵も、今年の6月に確認されたそうです。これまでに植え付けを行ったサンゴの生存率も50%前後で推移しています。

夏場の海水温の高い状態は依然続いていますし、台風被害でダメージを受けるサンゴも少なくありません。けれども地域の枠を越え、海の宝物を守り育てるチーム美らサンゴの取り組みは、少しずつ実を結びさらに広がっていくにちがいありません。

現在サンゴの植え付けに参加しているのは、県外の方が圧倒的に多いそうです。「県内の方にも、この活動のことをもっと知っていただき、参加していただきたいです」と石橋さんは言います。チーム美らサンゴの活動は、サンゴの植え付けだけに限りません。地球温暖化を少しでも抑制するための日々の暮らしでの取り組みや、海の環境を守ろうとする意識を親から子どもへ伝えていくこと、そういう参加のしかたもあるはず。



チーム美らサンゴの活動は、「第32回全国豊かな海づくり大会」で、農林水産大臣賞(漁場・環境保全部門)を受賞しました。第5回コーラルフォトコンテストも実施中。秋の植え付けは、10月19日(土)と11月16日(土)。詳細はHPで。

チーム美らサンゴ <http://www.tyurasango.com/>



平成25年 沖縄全戦没者 追悼式

平成25年6月23日(日)に糸満市摩文仁の平和祈念公園で平成25年沖縄全戦没者追悼式が執り行われました。



安倍首相は、来賓あいさつの中で、「今日は、大切な日です。沖縄で失われた二十万人もの尊い命、痛ましい犠牲、筆舌に尽くし難い苦難の歴史を経て、今を生きる私たちがあること、平和と、安全と、自由と、繁栄を、享受していることを、改めて、噛みしめる日であります。」と述べられました。伊吹衆議院議長及び平田参議院議長も戦没者の追悼と平和に対する思いを述べられました。

また、式典終了後は、一般焼香が行われ、参列者の方々は戦没者のみ霊に手を合わせ、戦没者の追悼と恒久平和を祈念されました。

平和宣言と平和の詩

県では、沖縄戦で犠牲となった戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄の心を発信する目的で、糸満市摩文仁の平和祈念公園において「平成25年沖縄全戦没者追悼式」を開催しました。

式典には、来賓の安倍内閣総理大臣、伊吹衆議院議長、平田参議院議長及び県内外から遺族関係者など、約5,800人が参列しました。

式典では、追悼のことは、平和宣言、「平和の詩」の朗読や来賓のあいさつ等がありました。

仲井真知事は、平和宣言において、「私たちは、沖縄戦の教訓を継承するとともに、わが国が築いてきた平和主義の堅持を強く望むものであります。慰霊の日に当たり、全戦没者のみ霊に謹んで哀悼の誠を捧げますとともに、恒久平和の実現を目指して、県民の強い思いと英知を結集してまい進していくことを宣言しました。

与那国町立久部良小学校1年生の安里有生くんは「へいわってすてきだね」

と題して、平和について考えた思いを与那国島の情景や普段の生活を交えて表現し、



安里有生くん

「ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。このへいわがずっとつづいてほしい。みんなのえがおが、ずっとつづいてほしい。」として、世界の平和を願う素直な気持ちを詩で朗読しました。

慰霊の日の関連行事

追悼式典の当日は、沖縄県遺族連合会の主催により、第52回平和祈願慰霊大行進が行われ、遺族関係者約1,000名が南部の激戦地を行進することで、戦争の悲惨さを改めて認識し、世界の恒久平和を祈願しました。

また、同連合会の照屋苗子会長は、式典における追悼のことは、二度と悲惨な歴史を繰り返さぬよう平和を希求する「沖縄の心」を世界に発信し続け、恒久平和に向けてなお一層精進、努力する」と述べられました。



平和祈願慰霊大行進

「平和の礎」追加刻銘について

糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある「平和の礎」は、世界の恒久平和を願い、沖縄戦などで亡くなられたすべての人々の氏名を刻んでおります。

県では、毎年「平和の礎」の追加刻銘を実施しており、今年度は、新たに県出身者46名、県外出身者16名の合計62名の氏名を刻銘しました。今年6月23日現在、刻銘者総数は241,227名となっております。



県では、今後も「平和の礎」の追加刻銘を実施していきます。

なお、追加刻銘の際には、戦没者申告票、戸籍簿(除籍簿)などの提出が必要です。詳しくは沖縄県公式ホームページ内の「平和の礎」ページをご参照いただくか、県平和男女・共同参画課(電話098-866-2500)までお問い合わせください。

お問い合わせ 沖縄戦全戦没者追悼式については 県福祉支援課 電話:098-866-2177 FAX:098-866-2758
「平和の礎」追加刻銘については 県平和・男女共同参画課 電話:098-866-2500 FAX:098-866-2589

イベント

■全島サッカー1万人祭り2013

- 内容 FC琉球ホームゲーム開催、キッズコーナー、音楽イベントなど
- 日時 8月4日(日) 午前11時～午後6時
- 会場 沖縄県総合運動公園陸上競技場
- 問合せ 全島サッカー1万人祭り 2013実行委員会
- ☎098-987-1619
- 県スポーツ振興課
- ☎098-866-2708

■次世代共育フォーラム

- 内容 ベストセラー「女性の品格」著 沖繩の若者の将来への希望を見出し、自ら行動する力を育むキャリア教育に関するフォーラムを開催します。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

試験

■平成25年度フリーニング 師試験

- 日時 9月12日(木) 午前9時20分～午後5時
- 会場 徒によるアトラクションがあります。
- 会場 県立博物館・美術館内 県民ギャラリー
- 問合せ 泡瀬特別支援学校 ☎098-932-7584
- 【筆記試験】沖縄県生活衛生研修センター(那覇市小祿)
- 【実技試験】若草フリーニング(那覇市小祿)
- 願書受付期間 8月12日～8月16日 ※住所地を所管する各保健所まで提出
- 問合せ 県生活衛生課 ☎098-866-2055

■沖縄県登録販売者試験

- 日時 11月2日(土) 午前10時30分～午後4時
- 会場 琉球大学工学部
- 願書配布場所 県各保健所
- 願書受付期間 8月22日～8月28日 ※住所地を所管する県各保健所まで提出
- 問合せ 県薬務疾病対策課 ☎098-866-2215

広告



試験

平成25年度中学校卒業程度認定試験

就学義務猶予免除者などの中学校卒業程度認定試験を実施します。合格すると高等学校の受験資格が得られます。

- 日程 10月28日(月)
- 会場 県庁13階第3会議室
- 願書受付期間 8月28日～9月13日
- 願書配布 8月上旬～
- 問合せ 県教育庁義務教育課
☎098-866-2741

行政書士試験

- 日時 11月10日(日)
午後1時～午後4時
- 会場 沖縄国際大学、県宮古事務所、石垣市商工会館
- 受付期間 8月5日～9月6日
- 願書配布場所 一般財団法人行政書士試験研究センター、県市町村課、名護県税事務所、コザ県税事務所、県宮古事務所、県八重山事務所、沖縄県行政書士会
- 手数料 7,000円
- 問合せ 一般財団法人行政書士試験研究センター
☎03-3263-7700
県市町村課
☎098-866-2134

募集

第7回沖縄県子ども地域安全マップコンテスト

子供自身の被害防止能力及び地域への愛着心の向上と安全マップづくりの普及促進を目的に「地域安全マップコンテスト」を実施します。

- 締切 9月6日(金)
- 対象 県内の小学生
- 提出先 県県民生活課又は最寄りの警察署生活安全課
- 提出方法 持参又は郵送
- 問合せ 県県民生活課
☎098-866-2187

花と緑の名所100選

県内の花や緑などの優れた緑地をご推薦ください。推薦のあった候補地から審査を経て「花と緑の名所100選」を選定します。

- 締切 9月30日(月)
- 問合せ 県森林緑地課
☎098-866-2295

海外長期ジョブトレ派遣

アジアで約3か月のジョブトレーニングを実施し、修了後は海外就職を目指します。

- 募集締切 9月30日(月)
- 対象 就職活動をしている35歳未満の方
- 費用 現地滞在費は県が負担(航空運賃は自己負担)

- 申込先 (株)沖縄ヒューマンキャピタル
☎098-895-1702
- 問合せ 県雇用政策課
☎098-866-2324

若年者ジョブトレ！

基礎講座から、実際の県内企業(150社以上)での職場訓練を通して、就職につなげます。

- 対象者 40歳未満の求職者(在職者、学生、雇用保険受給者除く)
- 業種 1丁産業、観光産業、営業、事務
- 訓練期間 基礎講座(Off-JT)1ヶ月/職場訓練(On-JT)3ヶ月
- 訓練手当 月額約136,000円(1時間あたり810円)
- 問合せ 若年者ジョブトレーニング事務局
☎0120-827-828
県雇用政策課
☎098-866-2324

不発弾磁気探査費用の補助

県内で住宅等の新築や建て替えを予定している方を対象に磁気探査費用を補助しています。

- 申込先 各市町村の防災担当窓口
- 問合せ 県防災危機管理課分室
☎098-866-2153

お知らせ

「特別警報」が始まります

気象庁は、8月30日から新たに、重大な災害が発生する危険性が著しく大きい場合に特別な警戒を呼びかけるため「特別警報」の運用を開始します。「特別警報」が出た場合は、ただちに命を守るための行動をとってください。

- 問合せ 沖縄気象台業務課
☎098-833-4283

北方領土返還運動強調月間

8月は「北方領土返還運動全国強調月間」です。我が国固有の領土である歯舞、色丹、国後、択捉の北方四島は、戦後67年以上を経た今日まで、返還されていません。北方領土の早期返還を実現するため、県民の皆さまの返還要求運動に対するご理解とご支援をお願いします。

- 問合せ 県広報課
☎098-866-2020

道路ふれあい月間

8月は「道路ふれあい月間」です。道路マナーを守り、安全で快適な道路環境を保ちましょう。

現在、道路の除草、植栽を行う道路ボランティアも募集中です。美しい道路を目指して、県民の皆さまのお力をお貸しください。

- 問合せ 県道路管理課
☎098-866-2665
- または県各土木事務所

毎月勤労統計調査特別調査

- 期間 8月～9月
- 調査対象 7月31日現在、1～4人の労働者を雇用している事業所
- 調査方法 統計調査員による聞き取り調査
- 事業主の皆さまは調査へのご理解とご協力をお願いします。
- 問合せ 県統計課
☎098-866-2050

青い羽根募金について

毎年、海の日を中心として、7月1日～8月31日は「青い羽根募金」の強化期間となっています。

この募金は船舶の遭難や海洋レジャー事故の際の人命救助及びその訓練、機材の購入などに活用されています。

皆さまのご協力をお願いします。

- 募金の振込先
沖縄銀行高橋支店
普通預金 1526329
公益社団法人琉球水難救済会
●問合せ
公益社団法人琉球水難救済会
☎098-868-5940

広告

広告



毎月第3金曜日・土曜日は、「おきなわ食材の日」です。



ていだサンサン
食べたらがんじゅう沖縄産！

ご存知ですか？ 農作物や園芸施設（ハウス）の 保険があるんです！！

建物の火災保険や地震保険、自動車の任意保険、最近ではゴルフ保険等、「もしものときの備え」として、保険制度が幅広く活用されています。

これからご紹介する「農業共済制度」は、農家の「もしも・・・」に備える心強い保険制度です。

沖縄県の台風被害

沖縄は台風の常襲地帯で、過去5年で33個の台風が接近しています。特に近年は、台風による被害も大きく、農作物および農業施設の被害額は、平成23年約71億円、平成24年約28億円と大きな額となっています。

被災農家は、作物の収穫量が減ってしまっただけでなく、被災施設の修繕にも多額の費用が必要になるなど、収益が減り、経営が圧迫されてしまっています。

被災農家を支える 農業共済制度

農業共済制度は、他の保険の仕組みと同様、「加入者（農家）が掛金



台風によるさとうきびの被害



台風による園芸施設の被害

を出し合って共同準備財産を作り、災害による損害が発生したときに共済金（＝保険金の支払いを受ける）という仕組みです。

国の農業災害対策の一環であり、共済掛金の一部を国が負担（共済掛金＝国の負担分＋農家負担分）する等、公的な保険制度として全国で

沖縄型農業共済 推進事業って何？

共済事業が実施されています。本県では、沖縄県農業共済組合により、農作物（水稲）共済、家畜共済、畑作物（さとうきび）共済、園芸施設共済、任意共済の5つの共済事業が行われており、加入農家の安定経営を支えています。

沖縄型農業共済制度推進事業

沖縄県農業共済組合実施事業の主なメニュー

- ◆共済目的に使用する営農用資材（除草剤、ハウスネット等）購入や農作業委託料（ハーベスターによる収穫作業等）の支援

対 象	さとうきび共済加入者	園芸施設共済加入者
支援金限度額	加入時の農家負担掛金の約2割	加入時の農家負担掛金の約6割

- ◆損害防止技術の普及啓発による、自然災害に強い営農活動の支援

支援内容、共済加入の問い合わせ先

本所（浦添市）	☎098-860-3450
北部支所（名護市）	☎0980-52-4082
中南部支所（南城市）	☎098-945-3293
宮古支所（宮古島市）	☎0980-72-4724
八重山支所（石垣市）	☎0980-82-4780

お問い合わせ 県糖業農産課 電話:098-866-2275 県農業共済組合URL <http://www.nosai-okinawa.jp/>

まちあるき

沖縄本島でいちばん小さなまち、与那原町。

有名な大綱曳をはじめ、山原船が着く

港町として賑わった歴史など、知るほどに

面白い与那原のまちを歩いてみましょう。

与那原とって真っ先に思い浮かぶのは「与那原大綱曳」という方も多いのではないのでしょうか。400年以上の歴史を誇り、那覇・糸満とらんで沖縄県の三大綱ひきのひとつに挙げられる勇壮な大綱曳、今年は8月4日（日）に行われます。まちあるきでは、大綱曳を行う前に祈願する拝所や、カナチ棒が保管されている意外な場所なども訪れます。

また、琉球王朝時代に神女（ノコ）の最高位である間得大君（キコエオオキミ）が行った聖地巡礼の行事、東御廻り（アガリウマリー）で訪れた拝所や、与那原発祥ゆかりの地、かつて本島北部からの山原船が經由した港町として栄えた歴史など、ガイドの話に耳を傾けながら、今も暮らしの中に根付いている名所を訪れます。他にもユニークな石獅子に出会ったり、まちで人気のスイーツの店を教えてもらったりと、見て、聞いて、歩いて楽しい！与那原まちあるきを体験しませんか。

東浜の「今」と「昔」

平成25年2月、埋立後の与那原

平成2年頃の与那原海岸

1 町民の交流の場であるコミュニティセンターに集まり、簡単なストレッチをして出発！国道329号にかかる歩道橋から、まちが一望できます。

2 かつてこの地に御殿が建てられ、東御廻りや国王と間得大君の久高島参詣の際にも休憩地として利用していました。

3 綱曳資料館の前の広場にある親川は、東御廻りの巡礼地で、天女が産湯に使ったという伝説が残る神聖な湧き水です。敷地内には大綱曳に使うカナチ棒を水に浸して保管しています。（写真左）

4 民家の敷地内にある拝所。与那原の地を開墾したとされる人物とその一門を祀っています。また竿之増は「宗之増」と表記されることもあります。

与那原町

8 口が開いているのでオス。材木が多かったので火事から村落を守るために、もう一体のメスと対てられたそうです。

7 材木店が並ぶ通り。かつて、本島北部から材木などを積んだ「山原船」（ヤンバルセン）の中継港として栄えた場所でした。

6 与那原に7体ある石獅子のひとつ。村落を守るために作られたという石獅子、木が頭にあって思わず「痛くない？」と聞きたくなります。

5 竿之増一族に協力して与那原発祥に尽力した人物を祀った拝所。大綱曳の東の練習場所になっています。ちなみに西は親川で行います。

←南風原町

与那原警察署

→南城市

与那原まちあるき

コース 与那原町字与那原ほか
実施曜日 通年（3日前まで要予約）2名～実施
料 金 1,575円／1名
所要時間 1時間 30分

お問合せ先 NPO法人 自然体験学校 沖縄校
電話番号 098-998-0330
URL <http://shizentaiken.com/okinawa.html>

*地図に記された以外にもポイントがあります。詳しくはまちあるきでのお楽しみ。

よんなータイム

県庁に関するちょこっと話

vol.4 火曜日のお楽しみ

皆さん、火曜日といえば何ですか？
県庁舎の火曜日といえば、パン販売の日です！

第5週を除く毎週火曜日のお昼に、障害者就労支援施設などの方々が接客・販売の就労訓練として、県庁舎にパンや焼き菓子の販売に訪れます。お弁当の販売もあります。週によって販売施設が変わりますが、今回、第3週のひまわりファクトリーさんと、ふれあいセンターさんを取材してきました！

人気パンはあっという間に完売

県庁でも大人気のこのパン販売。お昼になると職員で買った返します。ひまわりファクトリーさんは約50種類のバラエティーに富んだパン・焼き菓子を揃えています。うーん！どれにしようか迷う〜!! 一番人気はクロワッサンメロン。クロワッサンにメロンパンの生地がのっけています。このひまわりファクトリーさんは、



約50種類に及ぶパンや焼き菓子

障害のある方々とその支援者が参加するパン・菓子づくりコンテスト「ユニバーサルベーキングカップ」で2007年に優勝、その後名称を変更した「チャレンジドカップ」では2011年に3位という、輝かしい経歴をもっています。販売員は「お客さんから美味しいですね、と言われた時が嬉しい」と笑顔で話してくれました。豊見城市にパン部門、糸満市に焼き菓子部門のお店を構えているそうなので、気になる方はぜひ買いに行ってみてください！



ひまわりファクトリーの皆さん

お弁当も負けずに全品完売

ふれあいセンターさんはお弁当の販売をしています。肉と魚の2種類があり、弁当にはスープとサラダが付いてきます。県立看護大学の学食も運営していて、毎日約200個の弁当を作っているそうです。この日



弁当、完売できました！



完売を喜ぶふれあいセンターの皆さん

県庁舎に持ってきた弁当40個はみごと完売し、「完売できました！」と嬉しそうに支援員と握手し、喜びを分かち合っていました。

皆さん楽しそうにお仕事していました。自分達が一生懸命作ったものが認められ、人気があるって、嬉しいですね。また来週火曜日にも楽しみにしています☆

編集後記

Editorial Note

- 8月!暑い沖縄の夏、到来です。今年は何をして楽しもうかなあと考えています。本紙6ページでも紹介していますが、県内各地で祭りなどイベントが盛りだくさんです。家族で、友達と、恋人と、楽しい時間をお過ごし下さい。ビールが美味しい季節ですが、飲酒運転には気をつけましょう！(Mango)
- 「ミン、ミン」、「ジージー」とせみの鳴き声で目が覚める今日この頃、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。ところで、日本列島は連日の猛暑日。沖縄も以前に比べると何となく暑いような気がするのは私だけでしょうか。県内の熱中症発生件数も前年と比べ5割程度増加しているようです。夏は楽しいイベントなども多いですが、その際は水分、塩分の補給をこまめに行うよう気をつけたいですね。(son41)

県広報課 から 8月のお知らせ

詳しくはホームページへ 沖縄県広報課 検索



県政広報テレビ番組
「うまんちゅひろば」

テレビ放送／毎週土曜日・日曜日

- 琉球朝日放送 (QAB) 土 15:55 ~ 16:00
- 沖縄テレビ (OTV) 日 8:55 ~ 9:00
- 3日・4日 / ゆいレール開業10周年と浦添市ルート延長
- 10日・11日 / 「知的財産権」について考えよう
- 17日・18日 / 農業共済制度って何???
- 24日・25日 / 自主防災組織の活動について
- 31日・1日 / しまくとぅば県民運動推進大会

ラジオ県民室

県政広報ラジオ番組「ラジオ県民室」
お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

ラジオ放送／毎週月曜日～金曜日

- ラジオ沖縄 (864KHz) 11:50 ~ 11:55
- RBCi ラジオ (738KHz) 11:55 ~ 12:00
- FM 沖縄 (87.3MHz) 12:55 ~ 13:00

県政出前講座実施中

現在、95種類の講座を提供中！
県の職員が講師として出向きます。
詳しくはホームページをご覧ください。

県広報課 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 E-mail: kouhou@pref.okinawa.lg.jp